

当院にて重粒子線（炭素イオン線）治療を受けられた皆様へ

量子科学技術研究開発機構では、各疾患に対する重粒子線治療を行っています。その被ばく線量および二次がん発生リスクに関しては今後も検討が必要な状態です。

この研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の患者さんの個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

【研究課題名】 モンテカルロシミュレーションを用いた重粒子線治療の患者被ばく線量の解析と二次がん発生リスクの解析研究

【研究実施期間】 機関の長の許可日～2029年3月31日

【研究機関】 量子科学技術研究開発機構 QST病院および放射線医学研究所

【研究責任者】 若月 優

【研究の目的】 QST病院において重粒子線治療を施行した患者さんの治療計画画像を抽出し、従来よりも高い精度の計算方法を用いて、重粒子線治療における重粒子および2次粒子の挙動を正確にシミュレーションし、患者さんの被ばく線量を評価し、二次がん発生リスクなどを解析します。

【研究の方法】 下記の情報を収集し、データ解析を行います。

●対象となる方々

2000年1月以降、2025年3月までにQST病院において重粒子線治療を受けた方。

●利用する情報

治療計画CT画像並びに関連する画像・治療計画データおよび臨床データ（二次がん発生の有無、二次がん発生までの期間、原発巣、腫瘍の病期分類、腫瘍の詳細情報など）

※2000年1月以降に得られたデータを調査対象として、必要に応じて、研究実施期間中適時抽出し収集します。新たな質問や検査はありません。

【個人情報の取り扱い】

本研究で得られた個人情報は、他の情報と照合しない限り特定の個人を識別できないよう加工して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名そのほか個人を特定しうる情報は一切公表しないこととします。（個人情報保護法及び国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構個人情報保護規程に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。）

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方（又は代理人の方）は、2025年12月31日までに、下記窓口にお申し出ください。ご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。研究機関の長の許可日以降に解析を行います。2025年12月31日まではお申し出があれば、データを取り除きます。それ以降のお申し出であっても可能な限りデータを取り除きますが、データ解析に使用して個人情報と切り離されてしまった診療情報は取り除けないことがあります。その場合にも、個人を特定できる情報が表に出ることはありません。

【問い合わせ先：窓口】

〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 QST病院 若月 優

電話：043-206-3306（平日9：00～17：00）